

# 平成22年度 事業報告書

財団法人日本ハンドボール協会

## 1. 普及指導に関する事業

### 1) 普及関係

#### (1)少年チーム活性化推進ブロック会議

近畿	: 8月15日(日)長浜	四国	: 8月28日(土)香川総体
北信越	: 10月9日(土)福井	東海	: 10月24日(日)鈴鹿
関東	: 12月11日(土)守谷	九州	: 1月7日(金)別府
中国	: 1月23日(日)総社	東北	: 2月26日(土)東根

・少年チーム活性化の方策についての情報交換

#### (2)小学生専門委員会

第1回小学生専門委員会 5月16日(日)協会事務局

- ・第23回全国小学生大会について
- ・J級指導者講習会について
- ・ブロック委員会の開催について
- ・各種調査について
- ・(財)大崎企業スポーツ事業研究助成財団補助による事業展開について

第2回小学生専門委員会 7月29日(木)京田辺市

- ・ブロック活動状況報告(大会、交流会、指導員養成等々)
- ・日韓小学生親善交流会について
- ・ブロック委員会の開催について

#### (3)中学生専門委員会

第1回中学生専門委員会 8月16日(月)呉阪急ホテル

- ・各ブロック状況報告
- ・第19回JOCジュニアオリンピックカップ大会について
- ・第6回春の全国中学生ハンドボール選手権大会について

第2回中学生専門委員会 12月24日(金)愛知県体育館

- ・各ブロック状況報告
- ・第19回JOCジュニアオリンピックカップ大会の大会運営について(愛知県)
- ・第20回JOCジュニアオリンピックカップ大会記念行事について

#### (4)小学生指導要領対策

文部科学省訪問: 4月16日(金)文部科学省スポーツ・青少年局

第1回学校体育検討専門委員会 4月17日(土)協会事務局

- ・第13回研究集会実施案検討  
講師依頼(文部科学省調査官等)
- ・委託校選定について

小委員会(打ち合わせ) 8月3日(火)佐久市立中佐都小学校

第13回研究集会 8月4日(水)、5日(木)佐久市立中佐都小学校

- ・授業発表
- ・実技研修と講義

#### (5)ビーチハンドボール専門委員会

ビーチハンドボール委員会 4月10日(土)ANTC

H22年度ビーチハンドボール国際対応について

ビーチハンドボール世界選手権-女子- 10位

6月23日(水)～27日(日)トルコ アンタルヤ  
第12回全日本ビーチハンドボール選手権大会 8月28日(土)、29日(日)  
兵庫県 アジュール舞子  
ビーチハンドボール委員会 8月29日(日) アジュール舞子  
第2回アジアビーチゲームズ(2010/マスカット)への取り組み  
第2回アジアビーチゲームズ(2010/マスカット)  
12月8日(水)～16日(木)  
男子：1勝4敗(グループA 6位)  
女子：1勝3敗(5チームによるリーグ戦 4位)

#### (6) マスターズ専門委員会

第1回中央委員会 6月13日(日) プラザー体育館  
・大会参加状況について  
・大会係割り当て  
第18回全日本マスターズ大会 7月31日(金)～8月2日(日)  
豊田市総合体育館(スカイホール)他  
参加チーム 男子50・女子18・11人制6 合計74チーム  
第2回マスターズ専門委員会 2月13日(日)12:30～15:00  
山梨県甲州市 塩山体育館  
・平成23年度第19回全日本マスターズ 大会要項(案)検討  
・参加費値上げについて  
・第20回大会記念行事、資金集めについて  
・各ブロック報告

## 2) 指導関係

### 指導委員会

- (1) 日本体育協会公認スポーツ指導員養成実施県  
上級指導員 秋田県  
指導員 愛知県、兵庫県、長崎県
- (2) 日本体育協会公認コーチ養成講習会 6月22日(火)～27日(日)
- (3) ドイツの一貫指導研修会 Klaus Ferdmann 東日本大震災のため中止
- (4) 都道府県協会指導委員選出・委員会組織の再整備
- (5) 全国指導委員会 1月30日(日)ANTC  
・各県指導委員とNTSとの関わりについて  
・各ブロック県の指導委員との連携
- (6) 全国競技別講師研修会 2月26日(土)、27日(日) ANTC  
参加者 23名
- (7) 日本協会公認J級指導員養成講習会

## 3) 競技者育成技術委員会

### 競技者育成技術委員会開催

4月4日(日)～3月9日(水)合計10回開催(テクニカルグループ内容検討会を含む)  
・NTS、指導委員会、審判部との連携事業の具体化

・日本のハンドボールの姿検討・・・NTSを柱とした各部の事業の効果的な実施計画作成

## 2. 競技運営に関する事業

### 1) 主要大会の管理・運営 (斜体は国際大会)

月	大会名	開催日程	開催地	結果
6月	ジャパンカップ2010 東京大会	6/4-6	東京体育館	男子: 1;韓国 2; <i>初(アジア)</i> 3;日本 女子: 1;韓国 2;日本 3;中国 4; <i>テ(アジア)</i>
7月	高松宮記念第51回全日本実業団選手権	7/7-11	徳島市立体育館 他	男子:1;大崎電気 2;大同特殊鋼 3;トヨタ車体 女子:1; <i>ソニ-セコダク</i> 九州 2;北國銀行 3;私団
	第30回全国クラブ選手権 東地区	7/16-18	本宮市総合体育館 他	男子:1;学石ク 2;桜門ク 3;法政二 OB、かぶら送球会 女子:1;青森クPink 2;SAKURAク 3;やんちゃク、REDS
	第15回 <i>アジア</i> 国際大会	7/22-25	広島市・東区SC	1;日本 2;NEO日本 3; <i>ア-レン</i> 4;中国
	第23回全国小学生大会	7/30-8/1	京田辺市田辺中央体育館 他	男子:1;守谷クラブ 2;下郡少年団 3;港川小学校 女子:1;東海クラブ 2;仏生寺少年団 3;東久留米クラブ
8月	高松宮記念杯第61回全日本高校選手権大会	8/1-6	浦添市民体育館 他	男子:1;北陸 2;瓊浦 3;岩国工業、不来方 女子:1;洛北 2;四天王寺 3;文大杉並、高岡向陵
	第18回全日本マスターズ大会	8/6-8	スポーツ豊田他	男子:1;下松クラブ 2;GG'S 3;オールドフェイス 女子:1;小松クラブ 2;富山エンジェルス 3;MMCM
	第15回 <i>ジャパンオープン</i> ナショナル山口国体杯大会	8/13-17	<i>サウザン</i> 周南総合SC 他	男子:1;Honda 2;長崎社中 3;HC山口 女子:1;香川銀行 T・H 2;徳山クラブ 3;HC高山
	第37回全国高等専門学校選手権大会	8/17-19	いしかわ総合SC	1;金沢高専 2;一関高専 3;熊本高専八代、北九州高専
	第39回全国中学校大会	8/17-20	呉市総合体育館 他	男子 1;平針中 2;けやき台中 3;大体大附中、日吉中 女子 1;平針中 2;西條中 3;香川一中、三郷北中
	第12回全日本ビ-フロントボール選手権大会	8/28、29	神戸アジュール 舞子浜	男子:1;日体大 2;FST 3;HC大阪、東海 Weeds! 女子:1;あぶらおおめ 2;シャイン 3;風見鶏クラブ
9月	第35回日本リーグ・レギュレーション	9/4-2/27	各地	男子:1;大崎電気 2;湧永製薬 3;大同特殊鋼 4;トヨタ紡織九州 女子:1;北國銀行 2; <i>ソニ-セコダク</i> 九州 3;広島メイプルズ
	第14回日韓スポーツ交流(受入/女子)	9/13-18	ANTC	
	第30回全国クラブ選手権 西地区	9/18-20	和歌山ビッグホエール	男子:1;愛知教員 2;HC大分 3;HC神戸 女子:1;NYHC 2;大阪教員 3;ナデンコクラブ
	第65回国民体育大会	9/30-10/4	市川市国府台市民体育館 他	成年男子:1;愛知県 2;埼玉県 3;佐賀県 4;広島県 成年女子:1;熊本県 2;広島県 3;石川県 4;大阪府 少年男子:1;山口県 2;福井県 3;香川県 4;大分県 少年女子:1;愛知県 2;京都府 3;大阪府 4;山口県

10月	日韓スポーツ交流(受入/男子)	10/9-14	ANTC	
11月	高松宮記念杯男子第53回女子第46回全日本学生選手権大会	11/19-23	大阪市中央体育館他	男子:1;国士舘 2;日体大 3;日本大、早稲田 女子:1;大教大 2;大体大 3;筑波大、日体大
12月	第62回全日本総合選手権大会(男子)	12/22-26	駒沢体育館	男子:1;大崎電気 2;トヨタ車体 3;大同特殊鋼、湧永製薬
	第19回JOCジュニアオリンピックカップ	12/25-28	愛知県体育館他	男子:1;長崎県 2;兵庫県 3;埼玉県、岩手県 女子:1;香川県 2;福井県 3;名古屋市、埼玉県
1月	第62回全日本総合選手権大会(女子)	1/19-22	広島市東区スポーツセンター	女子:1;ソニーセミコンダクタ九州 2;私大 3;広島メイプルズ、北國銀行
2月	全日本実業団チャレンジ2011	2/11-13	北陸電力福井体育館フレア	1;トヨタ自動車 2;トクヤマ 3;金沢市役所
3月	第35回日本リーグプレーオフ	3/12-13	駒沢体育館	東日本大震災により中止(レギュラーシーズンの順位を最終順位とする)
	第34回全国高等学校選抜大会	3/25-30	花巻市総合体育館他	東日本大震災により中止
	第6回春の全国中学生選手権大会	3/26-29	氷見市ふれあいスポーツセンター他	東日本大震災により中止

## 2) その他の事業

- ・ 全日本社会人連盟設立及び第1回理事会準備
- ・ HP上に平成22年度大会運営マニュアルを掲載
- ・ 平成22年度マッチバイザーの任務他各種通達
- ・ 平成22年度チーム・選手・チーム役員登録業務
- ・ 平成23年度Web登録実施導入の検討・準備
- ・ 競技運営連絡協議会(東京) 東日本大震災のため中止
- ・ 国民体育大会正規視察(岩手県)
- ・ 直接大会を管理した(ジャパンオープン、国民体育大会、全日本総合選手権)
- ・ 競技用具向上連絡協議会の開催

## 3. 国際に関する事業

### 1) 日本ナショナルチーム国際大会に関する事業

日程	カテゴリー	大会名称	開催地
4月	男女リーグ	第7回東アジアクラブ選手権	韓国(仁川)
	渡邊会長 市原副会長 多田副会長 ネメシュ・ローランド	IHF 臨時総会 火山噴火により直前中止	イタリア(ローマ)

5月	男女代表	日韓定期戦 2010 開催見送り	韓国
6月	男女代表	ジャパン・カップ 2010	日本(東京)
	女子ビーチ	第4回ビーチハンドボール世界選手権	トルコ(アンタルヤ)
	男女U-24	第20回世界学生選手権	ハンガリー(ニージハーザ)
7月	男子U-19(ユース)	第4回男子ユースアジア選手権	UAE(アブダビ)
	女子U-20(ジュニア)	第17回女子ジュニア世界選手権	韓国(ソウル)
	男女代表・男子NEO	第15回ヒロシマ国際	日本(広島)
	男子U-21(ジュニア)	第12回男子ジュニアアジア選手権	イラン(テヘラン)
8月	女子U-18(ユース)	第3回女子ユース世界選手権	ドミニカ共和国(サントドミンゴ)
	審判/池淵・檜崎	第1回ユースオリンピック	シンガポール
	男女小学生	第2回日韓小学生親善交流会	韓国(江南)
	男女高校生	第18回日韓中ジュニア交流会	中国(河南省)
9月	男子U-16	日韓スポーツ交流(派遣)	韓国(大田)
	女子U-16	日韓スポーツ交流(派遣)	韓国(仁川)
	女子U-16	日韓スポーツ交流(受入)	日本(東京)
10月	男子U-16	日韓スポーツ交流(受入)	日本(東京)
11月	男女代表 審判/家永・福島 審判/池淵・檜崎 TD/仲田参事 TD/坂本参事	第16回アジア競技大会	中国(広州)
12月	男女ビーチ 仲田参事	第2回アジアビーチゲームズ	オマーン(マスカット)
	女子代表	第13回女子アジア選手権	カザフスタン(アルマトイ)
1月	男子代表	第22回男子世界選手権	スウェーデン(マルメ他)
	渡邊会長	IHF 理事会	スウェーデン(マルメ)
2月	男子代表 TD/後藤参事 審判/池淵・檜崎	第14回男子アジア選手権	レバノン(ベイルート)

以上の大会への参加申請手続き・参加費等の精算・渡航手続きなど事務全般

## 2) 国際会議に関する事業

### (1) IHF 関係

- ・4月に開催予定であった IHF 臨時総会が、アイスランドの自然災害で延期となった。
- ・延期となった IHF 総会に提出する動議内容について、機関決定した。
- ・IHF に対しての諸連絡と加盟各国連盟との協力関係強化
- ・IHF 総会、理事会での議事内容翻訳
- ・IHF レクチャラーのノミネート実施(選抜対象者なし)
- ・2011 男子世界選手権 IHF アンバサダーノミネート(蒲生常務理事選抜される)
- ・各種大会や役員・レフェリー派遣業務の連絡調整全般

\* IHF ニュース翻訳

## (2)AHF 関係

- ・ 2010 広州アジア競技大会時開催の AHF 総会出席と諸連絡
- ・ テクニカルデレゲートならびにレフェリー派遣について、対応策検討実施
- ・ アジア大会前のカザフスタンエントリーについて、支援レター作成
- ・ 各カテゴリーのアジア選手権参加のサポート
  - \* AHF に関する事務的なエントリーなど手続き・諸連絡
  - \* テクニカルデレゲート・審判・アンチドーピング委員派遣などに関する連絡
  - \* AHF 会議議題・議事録の翻訳

## (3)EAHF 関係

- ・ 4 月 EAHF 会議(中国)
  - \* AHF 会議議題・議事録の翻訳
  - \* EAHF に関する連絡

## 3) その他の事業

- (1)パートナーシップ協定の締結(フランスハンドボール連盟)
- (2)祝電、礼状、お見舞い等各国連盟に送付
- (3)国際移籍に関する調査報告(IOC 憲章・IHF 規定・AHF 規定など)
- (4)国際移籍等に関する連絡(移動証明書の発行など)
  - 富田 恭介: HC Korosa(韓国)から移籍
  - ミヤギ トモエ: OV Helsingborg(スウェーデン)から移籍
  - 宮崎 大輔: BM. Alcobendas(スペイン)から移籍
  - ヌガ カズヤ: SV ConcordiaDelitzsch(ドイツ)から移籍
  - オ・ソンオク: Samcheok City Hall(韓国)から移籍
  - 谷口 尚代: Gibo Groep Kwiek(オランダ)から移籍
  - ホリカワ ヨシヒロ: Tus Worrstadt(ドイツ)から移籍
  - ミヤギ トモエ: OV Helsingborg(スウェーデン)へ移籍
  - ソン・ヘイルム: Taegu Metropolitan City Hall(韓国)から移籍
- (5)JOC 国際人養成プロジェクトの人材発掘育成を検討
- (6)翻訳業務
  - \* 大会要綱の翻訳
  - \* 海外大会情報の翻訳及び掲示

## 4. 競技規則(審判)に関する事業

### 1) 【基本方針】の報告

#### (1)トップレフェリーの資質の向上

トップレフェリーの高齢化にともない次代を担う若手レフェリーの育成に迫られた。JHA レフェリーコース等の環境整備やレフェリーアカデミーの早急的な取り組みは、将来性ある若手レフェリー育成を成し遂げることが出来た。2月に福井県で開催されたAHFレフェリーコースでは若手4ペアのレフェリーがチャレンジ。4ペア全員が合格をする偉業を達成。これからの審判部に明るい期待を持たせてくれた。また、国内最高峰の日本リーグを担当す

るレフェリーを一堂に集め、高いレベルでの講習および実技を行い有意義な講習会を催せた。国際審判員の池淵・檜崎ペアは、IHF および AHF からの大会ノミネートがあった（ユースオリンピック/アジア競技大会）。家永・福島ペアは、アジア競技大会の指名を受けた。

## (2)競技規則の正しい運用

- 平成 22 年度審判員の目標である、
- (ア) 防御側プレーヤーの権利の保障
- (イ) アドバンテージ・ルールの遵守
- (ウ) レフェリーの動きと位置取り

の 3 本柱は各全国大会での審判会議で確認され、審判員の共通認識を高めた。各全国大会で審判会議の義務づけとして実施している「ルールテスト」は審判員に定着してきており、平均的な成果を得られるようになった。ブロック大会レベルにおいても実施されるようになった。

NTS との連携では、選手強化につながるために競技規則についての指導およびサポートに心掛け成果をあげることができた。

## (3)AHF・IHF レフェリー講習会の開催

国際レフェリー育成が迫られているなか、AHF 大陸レフェリーコース開催が実現できた。将来的には、国際レフェリーを専門的に担当するレフェリーの育成と職場提供等を考えていく斬新的な取り組みが引き続き必要である。

## 2)【重点施策】について

(1)トップレフェリー研修会の期日について、6 月に開催された JHL 担当レフェリー研修会を当てた。全国大会を担当するレフェリーすべてを網羅するためには今後、参加対象者と講習会の内容を再検討する必要がある。また、この研修会をレフェリーだけのものにするのではなく、トレーナーや選手にも参加することを広めたい。

### (2)レフェリーアカデミーの充実

レフェリーアカデミーの意識は高まってきている。また、関係者への認知度も高くなってきた。引き続き積極的な働きかけと若い次代を担うレフェリーの発掘を考えていきたい。NTS センタートレーニングにおいてもレフェリーアカデミー生が参加した。選手強化およびレフェリー強化が同レベルで一体感をもつことが出来た。

### (3)継続行事の実施

平成 22 年度登録公認審判員数 2,777 名(前年度 +4 名)

#### 公認審判員上級審査結果

A 級審査は、全国クラブ選手権東地区をモデルに、B 級は北地区(福島県)・東地区(千葉県)・中地区(和歌山県)・西地区(佐賀県)の 5 地区にて実施。結果は下記のとおり。

	A 級	B 級
審査申請者	41 名	68 名
書類不備者	1 名	9 名
欠席者	5 名	7 名
筆記不合格者	4 名	5 名
実技不合格者	15 名	13 名
体力不合格者	0 名	0 名
合格者数	19 名	35 名

## レフェリーコース受験状況

前期	期 日	8月16日(月)～18日(水)
	モデル	長浜ドリーム大会
	場 所	滋賀県 長浜市
	担当者	越田(審査指導委員長)、森山(審査指導委員)、家永(国際審判員)、 楓(東海ブロック審判長)
後期	期 日	3月19日(金)～21日(日)
	モデル	西日本医歯薬大学選手権
	場 所	京都府立山城総合運動公園太陽が丘体育館
	担当者	越田(審査指導委員長)、藤井(審査指導委員)、植村(審判部長)
	受講生	13名(大学生 8名、高校生 5名)
		B級認定者 2名
		不合格 6名
		保留者 5名

## JHA レフェリーコース研修会

### JHL チャレンジリーグ(女子の部)

期 日	11月19日(金)～21日(日)
会 場	広島県
受講生	8名(愛知県4名、長野県2名、岡山県2名)
担当者	越田(審査指導委員長)、藤井(審査指導委員)

### JHL ウィンターキャンプ(男子の部)

期 日	1月21日(金)～23日(日)
会 場	福井県
受講生	7名(愛知県2名、福井県2名、富山県1名、岡山県2名)
担当者	越田(審査指導委員長)、岩上(北信越ブロック審判長)

## レフェリーアカデミー(活動報告)

第1回	期 日	5月29日(土)、30日(日)
	場 所	ANTC
	内 容	講義、実技
	参加者	スタッフ、審査指導委員、各ブロック審判長、アカデミー生
第2回	期 日	6月19日(土)、20日(日)
	場 所	ANTC
	内 容	講義、実技、他競技審判長講演、JHL トップレフェリー合同講習会
	参加者	スタッフ、アカデミー生、ラグビー協会 岸川審判長
第3回	期 日	7月3日(土)、4日(日)
	場 所	ANTC
	内 容	講義、実技、女子U-16合宿での吹笛
	参加者	スタッフ、アカデミー生
第4回	期 日	8月17日(火)～19日(木)
	場 所	広島県 呉市
	内 容	全国中学生大会 審判員
	参加者	スタッフ、アカデミー生、大熨(国際審判員)、富田(視聴覚委員長)

第5回	期日	11月1日(木)～21日(日)
	場所	大阪府立体育館
	内容	全日本学生選手権大会 審判員
	参加者	スタッフ、アカデミー生
第6回	期日	12月23日(木)～26日(日)
	場所	東京 駒沢体育館
	内容	全日本総合選手権大会 審判員帯同および観戦
	参加者	スタッフ、審査指導委員、アカデミー生、トップレフェリー
第7回	期日	2月9日(水)～15日(月)
	場所	福井県 北陸電力体育館フレア
	内容	AHFレフェリーコース 講義・実技
	参加者	スタッフ、審査指導委員、アカデミー生、タワコリ/カラフ (AHF/PRC)

- 総 評 -

1年間を通じて、第1回から第7回までのレフェリーアカデミーコースを開催した。第1回から第3回までは、座学および実技指導や外部講師を招いての他競技を通じた幅広い視野を広める講義を中心とした。レフェリーとしてのバランス良い人間性、感覚を重視した。第4回からは、今までの基盤を活かしたレフェリーとしての立ち振る舞いを演出できる場を設定。全国大会での公式戦を吹笛することで自信をつけた。また、大会関係者からの賞賛はアカデミー生にとって何よりの自信となったことは間違いない。レフェリーアカデミー最終回(年度内)は、AHFレフェリーコース受講。今までの集大成として全員が積極的に臨んだ。甲斐あり全員がAHFレフェリーコース合格という快挙を成し遂げることが出来た。若手国際レフェリー育成の足がかりとなった。

### 3) 審判員評価

- ・ 全日本高等学校選手権大会参加審判員評価(沖縄県) 審判審査指導委員 3名派遣
- ・ 第65回ゆめ半島千葉国民体育大会ハンドボール競技 審判審査指導委員 2名
- ・ 全日本総合選手権男子大会審判員審査(東京都) 審判審査指導委員 6名派遣
- ・ 第34回全国高等学校選抜大会(岩手県) 審判審査指導委員 2名派遣

### 4) 国際審判員の登録・派遣

- ・ IHF登録審判員(2ペア) 家永・福島ペア、池淵・檜崎ペア
- ・ GRTP登録 本田・田淵ペア

#### 国際試合と海外派遣

##### 第7回東アジアクラブ選手権大会

期日 4月7日(水)～9日(金)  
場所 韓国 仁川  
指名 家永(国際)・田淵(アカデミー)ペア

##### ジャパンカップ2010

期日 6月4日(金)～6日(日)  
場所 東京体育館  
指名 池淵・檜崎ペア、黒木・黒木(トップ)ペア、本田・田淵(アカデミー)

ペア

第20回世界学生選手権

期 日 6月27日(日)～7月4日(日)  
場 所 ハンガリー ニーレジハーザー  
指 名 安田・永春(AHF)ペア

第15回ヒロシマ国際大会

期 日 7月22日(木)～25日(日)  
場 所 広島市東区スポーツセンター  
指 名 池淵・檜崎ペア、佐々木・安田(アカデミー)ペア、高野・長澤(トップ)ペア

第1回ユースオリンピック

期 日 8月20日(金)～25日(水)  
場 所 シンガポール  
指 名 池淵・檜崎ペア

第16回アジア競技大会

期 日 11月12日(金)～11月27日(土)  
場 所 中国 広州  
指 名 池淵・檜崎ペア、家永・福島ペア

5) 会議・委員会

審査指導委員会

第1回審判審査指導委員会

期 日 10月16日(土)、17日(日)  
場 所 東京品川区五反田 東興ホテル  
内 容 A・B級受験状況および審査結果の検討、レフェリーコース前期受験状況報告、総合選手権大会審判員ノミネート、審判指導内容の検討と資料作り

第2回審判審査指導委員会

期 日 12月24日(金)  
場 所 東京都 駒沢体育館  
内 容 2010年競技規則問題集(改訂)について  
改正内容確認および検討、改正内容の伝達方法について

第3回審判審査指導委員会

期 日 1月28日(金)  
場 所 国立スポーツ科学センター  
内 容 平成23年度A・B級受験申請書類審査、審判部合同委員会議準備

審判部合同会議

期 日 1月29日(土)、30日(日)  
場 所 国立スポーツ科学センター  
参加者 審判部長、競技運営部長、審判審査指導委員会、各ブロック審判長、各連盟審判長、競技規則研究専門委員長、審判国際専門委員長、日本リーグ審判部長、審判総務専門委員長および審判総務専門委員

内 容 平成 22 年度諸活動の総括、平成 23 年度活動の検討、競技規則改正  
点の解説

5 . 競技力向上（強化）に関する事業

1) 国際大会・国際交流親善試合

チーム名	大会名	日 程	場 所	結 果
男子代表	ジャパンカップ 2010	6/4-6/6	東京都・ 東京体育館	1;韓国 2;ネバ(RUS) 3;日本
女子代表				1;韓国 2;日本 3;中国 4;ディナモ (RUS)
女子 ビー チ	第 4 回世界選手権	6/20-6/29	トルコ・アンタル ヤ	1;ノルウェー 2;デンマーク 3;ブ ラジル 4;ウクライナ 5;トルコ 6; クロアチア 7;ハンガリー 8;イタ リア 9;スペイン 10;日本 11; 中国 12;ニュージーランド
男子 U-24	世界学生選手権	6/27-7/4	ハンガリー・ ニーレジハーザ	1;ハンガリー 2;チェコ 3;セル ビア 4;日本 5;キプロス 6;トルコ 7;ポーランド 8;ウクライナ 9;U A E 10;メキシコ
女子 U-24				1;ハンガリー 2;ルーマニア 3; チェコ 4;トルコ 5;ポーランド 6; 日本 7;ブラジル
男子 U-19	第 4 回男子ユース アジア選手権	6/29-7/17	U A E ・ アブダビ	1;カタール 2;韓国 3;バーレーン 4;サウジアラビア 5;イラン 6;U A E 7;日本 8;チャイニーズタイペ イ 9;イラク 10;カザフスタン 11; レバノン
女子 U-20	第 17 回女子ジュニア 世界選手権	7/15-7/31	韓国・ソウル	1;ノルウェー2;ロシア 3;モンテネ グロ 4;韓国 5;ハンガリー6;オラン ダ 7;ドイツ 8;スウェーデン 9;セル ビア 10;スペイン 11;クロアチア 12;ブラジル 13;フランス 14;アン ゴラ 15;アルゼンチン 16;日本 17; 中国 18;メキシコ 19;チュニジア 20;タイ 21;グリーンランド 22;オ ーストラリア 23;コンゴ 24;香港
男子 U-21	第 12 回男子ジュニアア ジア選手権	7/20-8/3	イラン・テヘラン	1;カタール 2;韓国 3;イラン 4;U A E 5;日本 6;バーレーン 7;シリア
男子代表	第 15 回ヒロシマ国際	7/23-7/25	日本・広島県	1;日本代表 2;NEO日本代表 3;バ ーレーン 4;中国代表
女子 U-18	第 3 回女子ユース世界 選手権	8/2-8/12	ドミニカ・サント ドミンゴ	1;スウェーデン 2;ノルウェー3;オ ランダ 4;フランス 5;スペイン 6;デ ンマーク 7;ロシア 8;ドミニカ 9;韓 国 10;アンゴラ 11;ハンガリー12; ウルグアイ 13;ブラジル 14;ドイツ 15;日本 16;カザフスタン 17;アル ゼンチン 18;コンゴ 19;タイ
男子 U-16	日韓スポーツ交流 2011 (派遣・受入)	9/5-9/10 10/9-10/14	韓国・ソウル 日本・東京	日本 36 ( 18 - 17, 15 - 16 ) 38 韓国 ( 1 - 3 延長 2 - 2 ) 日本 32 ( 16 - 12, 16 - 19 ) 31 韓国

女子 U-16	第 14 回日韓スポーツ交流(派遣・受入)	9/5-9/10 9/13-18	韓国・仁川市 日本・東京	日本 17 (7 - 13, 10 - 10) 23 韓国 日本 18 (8 - 7, 10 - 12) 19 韓国
女子代表	第 16 回アジア競技大会	11/12-11/27	中国・広州	1;中国 2;日本 3;韓国 4;カザフスタン 5;北朝鮮 6;チャイニーズタイペイ 7;タイ 8;インド 9;カタール
男子代表				1;韓国 2;イラン 3;日本 4;サウジアラビア 5;カタール 6;バーレーン 7;中国 8;クウェート 9;インド
女子代表	第 13 回女子アジア選手権	12/17-12/29	カザフスタン・アルマトイ	1;カザフスタン 2;韓国 3;中国 4;日本 5;北朝鮮 6;ウズベキスタン 7;タイ 8;イラン
男子代表	第 22 回男子世界選手権	1/13-2/1	スウェーデン・マルメ他	1;フランス 2;デンマーク 3;スペイン 4;スウェーデン 5;クロアチア 6;アイスランド 7;ハンガリー 8;ポーランド 9;ノルウェー 10;セルビア 11;ドイツ 12;アルゼンチン 13;韓国 14;エジプト 15;アルジェリア 16;日本 17;スロバキア 18;オーストリア 19;ルーマニア 20;チェンジア 21;ブラジル 22;チリ 23;バーレーン 24;オーストラリア

## 2) 海外強化合宿

チーム名	事業名	日程	場所	参加人数計(役員、選手)
男子代表	欧州遠征	8/5-8/15 8/15-8/23	フランス・ デンマーク	26 名(役員 5 名、選手 21 名)
女子代表	欧州遠征	11/30-12/8	ロシア・モスクワ	20 名(役員 4 名、選手 16 名)
男子代表	欧州遠征	1/4-1/12	デンマーク	25 名(役員 6 名、選手 19 名)

## 3) 国内強化合宿 (男女代表)

チーム名	場所	日程	参加人数(役員・選手)	ドクター	トレーナー
男子代表	第 1 回 ANTC	4/23-4/30	39 名(役員 7 名、選手 32 名)		赤尾・市川
	第 2 回 ANTC	5/10-5/18	33 名(役員 7 名、選手 26 名)		赤尾・市川
	第 3 回 ANTC	5/27-6/3	37 名(役員 8 名、選手 29 名)		赤尾・市川
	第 4 回 ANTC	6/16-6/23	31 名(役員 8 名、選手 23 名)		赤尾・市川
	第 5 回 ANTC	7/12-7/16	21 名(役員 4 名、選手 17 名)		市川陽子
	第 6 回紋別	7/12-7/16	21 名(役員 4 名、選手 17 名)		赤尾和彦
	第 7 回 ANTC	8/2-8/5	29 名(役員 8 名、選手 21 名)		赤尾・市川
	第 8 回 ANTC	9/19-9/23	30 名(役員 8 名、選手 22 名)		赤尾・市川
	第 9 回 ANTC	10/10-10/13	31 名(役員 8 名、選手 23 名)		赤尾・市川
	第 10 回 ANTC	10/24-10/28	27 名(役員 8 名、選手 19 名)		赤尾・市川
	第 11 回 ANTC	11/1-11/9	24 名(役員 8 名、選手 16 名)		赤尾・市川
	第 12 回 ANTC	12/12-12/17	31 名(役員 8 名、選手 23 名)		赤尾・市川

	第13回 ANTC	12/26-12/30	31名(役員8名、選手23名)		赤尾・市川
	第14回 ANTC	1/2-1/4	27名(役員8名、選手19名)		赤尾和彦
女子代表	第1回 ANTC	4/19-4/30	26名(役員4名、選手22名)		高野内俊也
	第2回 ANTC	5/17-6/8	29名(役員5名、選手24名)		高野内俊也
	第3回 広島	7/11-7/25	25名(役員4名、選手21名)		高野内俊也
	第4回 愛知	9/12-9/15	26名(役員4名、選手15名)		高野内俊也
	第5回 石川	10/10-10/13	19名(役員4名、選手15名)	-	高野内俊也
	第6回 石川	11/1-11/13	20名(役員4名、選手16名)	-	高野内俊也
	第7回 ANTC	11/28-11/30	23名(役員7名、選手16名)	-	高野内俊也
	第8回 ANTC	11/1-11/13	20名(役員4名、選手16名)	-	高野内俊也

#### 4) 国内強化合宿(男女ジュニア)

チーム名	場 所	日 程	参加人数(役員・選手)	ドクター	トレーナー
男子 U-19	第1回 ANTC	5/18-5/22	29名(役員6名、選手23名)		
男子 U-24	第1回 ANTC	5/21-5/23	26名(役員4名、選手22名)		永井正之
女子 U-24	第1回 ANTC	5/21-5/23	23名(役員7名、選手16名)		畑川猛彦
女子 U-18	第1回 ANTC	5/22-5/24	24名(役員5名、選手19名)		—
女子 U-24	第2回 ANTC	5/28-5/30	21名(役員7名、選手14名)		畑川猛彦
女子 U-20	第1回 ANTC	5/28-5/30	36名(役員6名、選手30名)		高野内俊也
男子 U-21	第1回 ANTC	6/9-6/13	26名(役員5名、選手21名)		
男子 U-24	第2回 ANTC	6/11-6/13	22名(役員6名、選手16名)		永井正之
女子 U-24	第3回 ANTC	6/11-6/13	23名(役員7名、選手16名)	有田 忍	畑川猛彦
女子 U-24	第4回 ANTC	6/18-6/20	23名(役員7名、選手16名)	有田 忍	畑川猛彦
女子 U-20	第2回 大阪教育大学	6/18-6/20	24名(役員6名、選手18名)		花岡美智子
男子 U-24	第3回 大同大学	6/19-6/21	22名(役員6名、選手16名)	沖本信和	永井正之
男子 U-19	第2回 ANTC	6/24-6/28	29名(役員7名、選手16名)		市川央人
女子 U-18	第2回 ANTC	6/24-6/29	24名(役員5名、選手19名)		—
女子 U-20	第3回 ANTC	7/2-7/4	25名(役員7名、選手18名)		市来未央
女子 U-16	第1回 ANTC	7/2-7/4	27名(役員7名、選手20名)		
女子 U-20	第4回 ANTC	7/10-7/14	25名(役員7名、選手18名)		市来未央
男子 U-21	第2回 ANTC	7/17-7/19	26名(役員5名、選手16名)		有田 忍
女子 U-18	第2回 ANTC	7/22-7/30	24名(役員5名、選手16名)		—

#### 5) ドクター・トレーナー帯同(遠征・大会)

チーム名	遠征・大会名	日 程	場 所	ドク-	トレーナー
男子代表	ジャパンカップ2010	6/4-6/6	日本・東京	佐久間克彦	赤尾和彦
女子代表	ジャパンカップ2010	6/4-6/6	日本・東京	佐久間克彦	高野内俊也
女子ビーチ	第4回世界ビーチ選手権	6/20-6/29	トルコ・アンタルヤ	沖本信和	
男子 U-24	世界学生選手権	6/27-7/4	ハンガリー・ニーレジハーザ	有田 忍	永井正之
女子 U-24				有田 忍	畑川猛彦
男子 U-19	第4回男子ユースアジア選手権	6/29-7/17	UAE・アブダビ		市川央人
女子 U-20	第17回女子ジュニア世界選手権	7/15-7/31	韓国・ソウル	宮本和彦	市来未央
男子代表	第15回ヒロシマ国際	7/23-7/25	日本・広島市		赤尾・市川
男子 U-21	第12回男子ジュニアアジア選手権	7/20-8/3	イラン・テヘラン	有田 忍	河瀬智昭
女子 U-18	第3回女子ユース世界選手権	8/2-8/12	ドミニカ・サントドミンゴ	佐久間克彦	田中美季
男子代表	欧州遠征	8/5-8/15 8/15-8/23	フランス デンマーク		赤尾和彦

女子 U-16	第 14 回日韓スポーツ交流(派遣)	9/5-9/10	韓国・仁川市		
男子 U-16	日韓スポーツ交流 2010(派遣)	9/5-/9/10	韓国・ソウル		大城一樹
女子 U-16	第 14 回日韓スポーツ交流(受入)	9/13-9/18	日本・ANTC		
男子 U-16	日韓スポーツ交流 2010(受入)	10/9-/10/14	日本・ANTC		大城一樹
男子代表	第 16 回アジア競技大会	11/12-11/27	中国・広州		赤尾和彦
女子代表					高野内俊也
女子代表	欧州遠征	11/30-12/8	ロシア・モスクワ		高野内俊也
女子代表	第 13 回女子アジア選手権	12/17-12/29	カザフスタン	佐久間克彦	高野内俊也
男子代表	欧州遠征	1/4-1/12	デンマーク	沖本信和	赤尾和彦
男子代表	第 22 回男子世界選手権	1/13-2/1	スウェーデン	沖本信和	赤尾和彦

#### 6) N T S (ナショナルトレーニングシステム)

- ・ブロックトレーニング(9 ブロック)の実施

小・中・高それぞれ男女約 1,000 名

- ・センタートレーニングの実施

中・高男女ブロック推薦各 50 名をナショナルスタッフで書類審査を実施し各 30 名程度を中心に、2011 年度 U16、U18、U19 代表強化指定選手の選考を行った。

#### 7) JOC ジュニアオリンピックカップ大会

男子優勝：長崎県選抜 女子優勝：香川県選抜

オリンピック有望選手の選考

男子 安倍 竜之介 (岩手県：盛岡市立松園中学校)

玉川 裕康 (埼玉県：さいたま市立田島中学校)

女子 該当者なし

#### 8) 日本代表チーム

- ・平成 22 年度はアジア競技大会、男子 WC を重点に予算配分した
- ・海外、国内での国際試合や日本リーグチームとのトレーニング試合を実施した
- ・少数精鋭 & 重点強化体制で ANTC を活用し着実な運営ができた
- ・日本リーグチームとの連携強化を図りスタッフ間との情報を共有した強化ができた
- ・大会の成績は次のとおりであった

##### ジャパンカップ 2010

男女の韓国優勝であった。女子が 2 位の成績ではあったが戦う姿勢、大型選手対策が急務の内容であった

##### アジア競技大会 (中国 広州)

男子 3 位、女子 2 位と前回大会よりランク UP の成績であった

##### 第 13 回女子アジア選手権 兼 2011WC 予選 (カザフスタン)

4 位の成績で世界選手権の切符を獲得

韓国に勝利、戦う体力強化が十二分に表現された試合内容であったが大型対策が急務

##### 第 22 回男子世界選手大会

24 カ国中 16 位で 30 数年ぶりに欧州勢に勝利したが、予選リーグを勝ち抜くことが出来なかった

### 女子ビーチハンドボール世界選手権大会（トルコ共和国）

日本代表として正式に参加、12ヶ国中10位

各国、正式に強化を図り参加していた、今後の事を考えるとビーチも日本代表として強化する必要性を感じた

#### 9) under 代表チーム

- ・年齢カテゴリー別の体制でNTSと連携して強化ができた
- ・代表チームをはじめunderチームスタッフは、ナショナルスタッフチームとした
- ・カテゴリー強化合宿・NTSなどによって指導育成した結果、次のとおりであった

### 第20回 世界学生ハンドボール選手権（ハンガリー）

今後代表として活躍する選手達であるため、精神面の強化の必要性を感じた

### 第4回男子ユースアジア選手権（UAE）

1番強化しなければならない年代である。あるところまでは各強豪国と戦うことができるが最終的には体格の部分で敗退する従来の反省課題と変わっていない体格面での強化策の必要性を感じた

### 第17回女子ジュニア世界選手権（韓国）

24カ国中16位、次期日本代表の大事なカテゴリーであるが短期間での強化では答えが出せない、対外試合を含めた強化策を考える必要がある

### 第2回アジアビーチゲームズ ビーチハンドボール競技

男子11カ国中11位、女子5カ国中4位でスタッフを含め競技に取り組む姿勢から強化していく必要性を感じた

### 第12回男子ジュニアアジア選手権大会競（イラン）

重点強化カテゴリーとして来年度は組織変更する。

### 第14回 日韓スポーツ交流 女子U-16

#### 日韓スポーツ交流2010 男子U-16

この年代から韓国に勝利するか、それに等しい試合内容でなければ上層部のカテゴリーの強化にも繋がらない。精神面も含め全体的に徹底させる必要がある。

#### 10) 分析活動および体力向上策

- ・情報科学委員会活動として、国立スポーツ科学センターの強力なバックアップによって分析活動を実現。予算についても、大きな支援をいただいた。
- また、ANTCのモデルとして競技団体毎の体力向上策の一環として、体力測定モデル化を推進した。

#### 11) ドーピング活動

- ・国体・全日本学生選手権・日本リーグ、全日本総合で、ドーピングコントロール実施。

#### 12) JHA ジュニアアカデミー

- ・アジアNO.1に返り咲くために各カテゴリーで韓国、中東に肉薄した内容の試合が大切である。そのためにもNTSで発掘された選手の中から特化して日本のエリート教育を実施し個人能力等スキルアップに努め、全国アカデミーキャラバンも実施し選手発掘にも努めた。男女アカデミー生から代表選手に選抜されアジア選手大会、世界選手

権で活躍し徐々に成果が現れてきている。

## **6. 機関誌発行に関する事業**

- 1) 年 9 回の発行を行った。  
1 ヶ月平均発行部数 約 4,900 部  
(年 1 回登録小学校へ無料配布 約 250 部)
- 2) 広告協賛 16 社 (伊藤超短波も含む) 毎号掲載は 15 社  
23 年 1・2 月合併号より新規ご協賛...江守商事 (株)
- 3) 機関誌の内容を充実
  - (1) 自らの取材による記事の掲載 (全日本総合・プレ-初・イカ・イター-II・車椅子・NTS 等)
  - (2) 委員会の連載継続 (医事・審判・コーチング研究会・学校体育等)
  - (3) インターネット情報との密接な連携
  - (4) 企画記事 (欧州事情、ロンドンに向けて等)

## **7. 企画に関する事業**

- 1) 各事業が実行計画に基づき確実に実行できるよう支援をした
- 2) 日韓定期戦の運営に関する課題の抽出をおこなった
- 3) ジャパンカップ 2011 の企画

## **8. 広報に関する事業**

- 1) 広報  
広報年間スケジュールに基づき活動を行った
  - ・ 定期記者発表 2 回 (日本リーグ、日本リーグプレーオフ)
  - ・ 臨時記者発表 5 回 (ジャパンカップ 2010 東京大会 (3 回)、第 16 回アジア競技大会、第 22 回男子世界選手権)
  - ・ プレスリリース (メールリリースも含め) 169 回  
(男女日本代表情報、各カテゴリー国際大会、国内大会他)
  - ・ ナショナルチームの情報公開インターネット発信 (ホームページ) の充実を図った  
マスコミ (テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ライター他) の取材調整を行った (54 件)  
東京記者クラブハンドボール分科会との意見交換を行った  
大会写真撮影にカメラマンを 5 大会派遣
- 2) インターネット  
日本協会ホームページの充実を図った
  - ・ 情報発信のスピード化を推進した (大会結果速報用に掲示板を利用した)

- ・更新頻度の増加を図った
- コンテンツ作成の効率化を図った

## 9. 財務・会計に関する事業

平成 22 年度は、財政状況を取り巻く環境は厳しい状況の中で、縮小均衡を前提に緊縮財政を組まなければならない状態でありました。収入面では、一般登録料、審判員登録料、一般検定料の増収はあったものの、マーケティング事業や入場料収入が、目標額を下回る結果となりました。支出面では、各事業の見直し、効率的な予算執行、補助金の効率的な運用に取り組みましたが、新たに第 4 回ビーチハンドボール世界選手権への出場、第 2 回アジアビーチゲームズへの出場、またレフリーアカデミーの実施など新規事業の追加などにより当期収支差額は、6,060 万円となりました。

## 10. 日本リーグに関する事業

### 1) 地域と共に発展する日本リーグを目指す

- ・開催地責任者・GM 合同会議を開催し、講師として株セレスポ・鎌田事業部長を招き、地域貢献のできる他団体の取り組み、第 34 回日本リーグを題材に「興業性」の観点で気づいた点を分析、講演頂いた。  
グループディスカッションで、22 年度開催地とチームが一体となり試合を盛り上げる方策を意見交換した。結果、各地での試合は独自性を出すことができ、開催地の取り組みが大きく変わってきた。独自性のある開催地、集客の優れた開催地を表彰。(神奈川県協会・尾張 JHL 運営委員会・三重県協会 JHL みえ推進委員会・福岡県協会・鹿児島県協会)
- ・第 35 回プレーオフは、関東都県協会の方々のご協力を得て準備を進めていたが、前日(準備日)に発生した震災のため急きょ中止とした。

### 2) ハンドボールの普及活動への積極的に参加

- ・各地での講習会へのチームの派遣
- ・日本リーグ開催に合わせた開催地での講習会への積極的参加
- ・第 2 回男子チャレンジディビジョンの開催  
(HC 岐阜・Honda・大同大学・HC 山口・中部大学・HCMKA・八光自動車・HC 春日井・徳山クラブ・トヨタ自動車)
- ・女子は、JHL 女子強化キャンプに参加(香川銀行・徳山クラブ)

### 3) リーグ戦のレベルアップと東アジア諸国との交流を通じ国際交流

- ・JHL コーチ研修会の開催と JHL レフェリー講習会の開催に於いて、チーム、レフェリーの統一見解を図った
- ・東アジアクラブ選手権(韓国・仁川)へ大同特殊鋼・ソニー・北國銀行が参加  
(大同特殊鋼 3 位、北國銀行 3 位、ソニー 4 位)

4) 日本リーグ中期ビジョンを具体化

- ・クラブチームの育成支援(琉球コラソン・三重バイオレット)
- ・22年度組織の中に、クラブ育成委員会を立ち上げ、体制整備

5) メディア対策を更に充実させる

- ・コーチ研修会でのメディアトレーニング
- ・リーグ開幕前、プレーオフ前に記者発表を実施
- ・各チームが、地元TV、ケーブルTV、地方紙とコンタクト、露出が増えた
- ・プレーオフTV中継は、BS12(TwellV)と交渉を進めていた

6) 各事業

- 6月・・・コーチ研修会  
レフェリー研修会
- 7月・・・開催地責任者・GM合同研修会
- 9月・・・リーグ戦開幕
- 10月・・・男子チャレンジディビジョン開幕
- 11月・・・女子強化キャンプ
- 2月・・・男子強化キャンプ
- 3月・・・プレーオフ(東日本大震災により中止)

7) 競技間の連携

- ・日本トップリーグ連携機構主催の審判研修会へ JHL レフェリー5名参加
- ・日本トップリーグ連携機構主催の若手研修会へ各チームより合計12名参加

## 11. 総務に関する事業

1) 定例の諸会議の開催について、開催場所の選択や人員・規模等を勘案し会議費や日程の効率的運営の推進を図った。

- (1)評議員会 6月6日(東京) 2月19日(東京)
- (2)理事会 6月6日(東京) 11月6日(東京) 2月26日(東京)
- (3)常務理事会 4月10日(東京) 5月15日(東京) 7月10日(東京) 9月11日(東京)  
10月9日(東京) 12月11日(東京) 1月8日(東京)
- (4)新理事会として 3月19日(東京)
- (5)全国理事長会議

第1回：9月29日、千葉縣市川市で千葉国体競技開始前日に開催。日本協会の事業について担当常務理事より説明が行われた。また、同日独自開催の理事長会議の報告が、杉本代表より報告された。同会終了後会場を変え懇親会が行われた。

第2回：2月20日、担当常務理事より主な実施事業について報告が行われた。参加者によるフリーディスカッションを行った。

## 2) 環境委員会

- ・スポーツと環境保全問題について、主要大会において会場にポスターやバナーの掲示をし、環境問題の啓発に努めた
- ・全日本総合など7大会にJOC環境ポスターの掲載をした
- ・クールビズの実施
- ・「チャレンジ25キャンペーン」で配信されるNews Leterを都道府県協会・連盟関係者にその都度転送し、啓発に努めた

## 3) 地方協会へ情報伝達の迅速化に努め、メールによる発信回数を増やした

## 4) 事務局の業務改善を図った

### 12. 「がんばれハンドボール20万人会」サポート会に関する事業

#### 1) 平成22年度サポート会員総数（平成23年3月31日現在）

特別会員	1名
グランド会員	255名
ファミリー会員	47名
ジュニア会員	16名
都道府県ファミリー会員	243名
都道府県グループ会員	5,317名
総数	5,879名

(前年と同数)

#### 2) 推進活動

- (1) 都道府県ファミリー会員・グループ会員入会の促進
- (2) 大会会場における会員の優先席設定
- (3) 20万人会への名称変更並びに規約改正

#### 3) 事務局

- (1) 毎月の入会・更新作業
- (2) 打合会の開催・事務処理

### 13. マーケティングに関する事業

#### 1) オフィシャルスポンサー、オフィシャルサプライヤーの確保と拡大

平成22年度 5社

#### 2) 協賛企業の確保・拡大

目標協賛金 2500万円に対し、協賛金 1530万円  
(機関誌 336万円)

寄付金 1080万円

- ・継続協賛 31社
- ・新規協賛 17社(ジャパンカップ2010 11社)

3) スポンサー感謝の集いを開催した(マスコミ懇親会と併せて)

11月5日に男女日本代表アジア競技大会壮行会時に行った

4) バリューアップ活動

(1)ジャパンカップイベント(読売新聞、WOWOW)

(2)小学館単行本「明日のない空」発売

(3)ファン交流会を開催：オリンピックも参加6月5日ジャパンカップ時

5) ジャパンカップ2010東京、日本リーグプレーオフでの協賛活動に協力・推進

6) オリジナルグッズ(モバイルクリーナー)3種を継続販売した

7) JOC、トップリーグ連携機構との連携でマーケティング力向上に努めた